

ホタテガイ採苗速報

稚貝サイズは過去最小。

稚貝採取は、1分5厘では西湾で7月下旬、東湾で8月上旬の見込み。

1 ホタテガイの付着状況

7月6日～8日に行った第2回全湾付着稚貝調査結果は図1～図3および表1、2(別表)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、間引きをしないものでは西湾で154,596個/袋、東湾で319,673個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾41,215個/袋、東湾193,489個/袋)よりも多くなっています。また、間引き後の平均付着数は、西湾で32,897個/袋、東湾で60,365個/袋でした。

稚貝の平均殻長(間引きなし)は、西湾で1.76mm、東湾で1.15mmと、いずれも過去10年の平均殻長(西湾2.57mm、東湾1.69mm)よりも小さく、7月上旬のサイズとしては過去最小となっています。また、間引き後の平均殻長は、西湾で1.98mm、東湾で1.31mmと、いずれも間引きをしないものより大きいサイズとなっています。

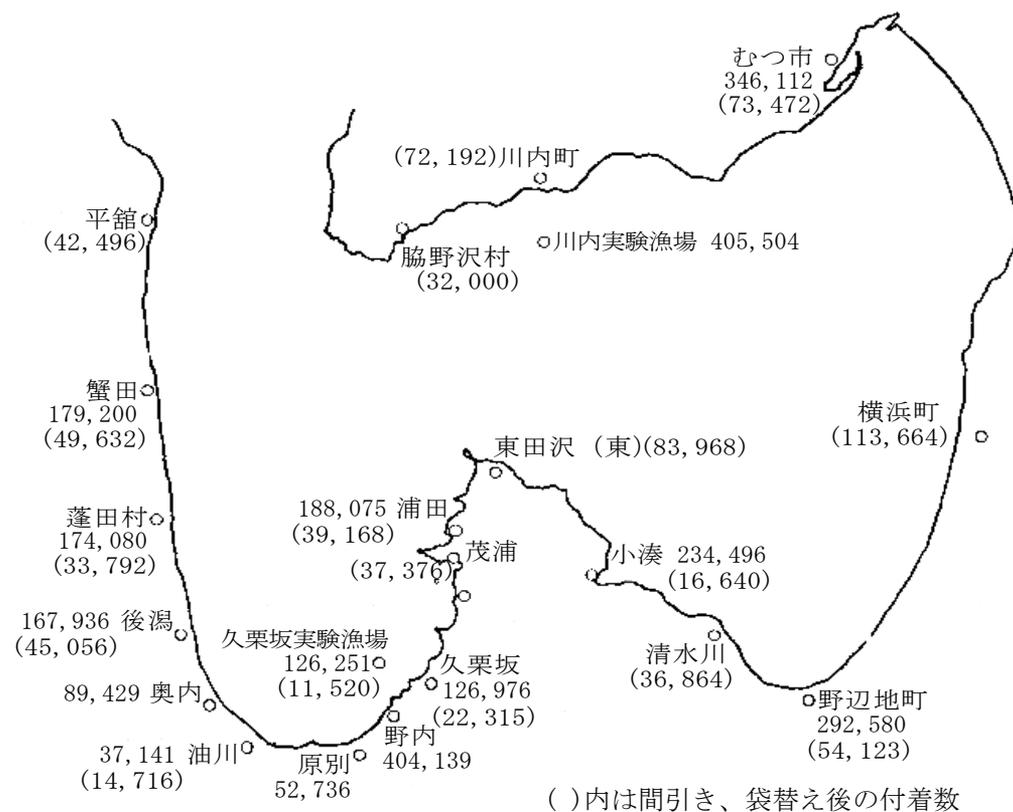


図1 調査地点毎の付着数〔単位：個/袋〕

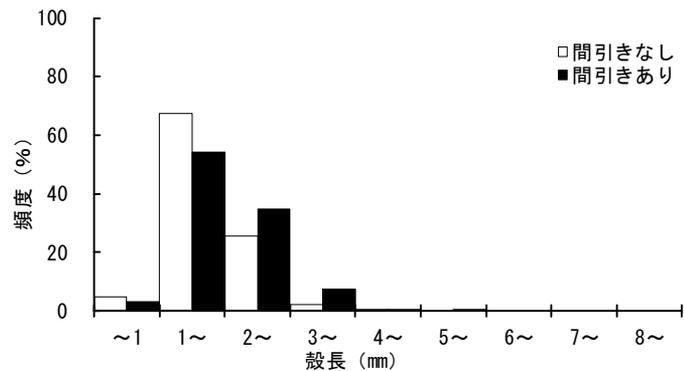


図2 ホタテガイの殻長組成(西湾平均)

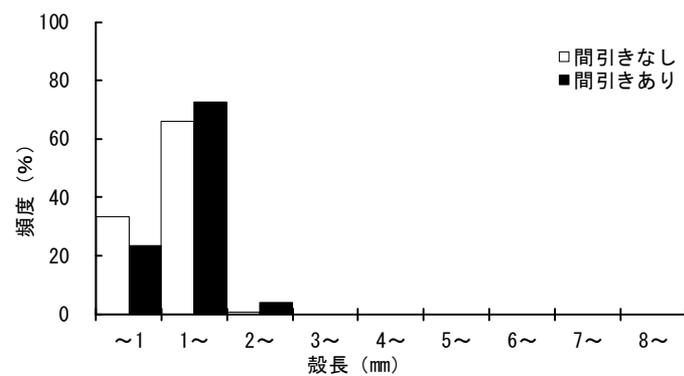


図3 ホタテガイの殻長組成(東湾平均)

2 キヌマトイガイ・ヒトデ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数(間引きなし)は、全湾平均で70,895個/袋と、過去10年の平均値(61,177個/袋)よりもやや多いですが、ムラサキイガイの付着数(間引きなし)は、全湾平均で13,743個/袋と、過去10年の平均値(44,741個/袋)よりも少なくなっています。なお、ウミセミとヒトデの付着はほとんど見られていません。

3 ヒトデラーバの出現状況

ヒトデのラーバは、全湾平均で1.7個/トンと、過去10年の同時期の平均値(4.4個/トン)よりも少なく、付着直前のブラキオラリア幼生も見られませんでした。

4 海況

各ブイの7月3日～9日の平均水温は、表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイの15m層でかなり高め、青森ブイと東湾ブイの15m層でやや高めとなっています。

表3 各ブイの1週間(7/3～7/9)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.8～19.0	東田沢ブイ	-	川内ブイ	13.4～19.7
蓬田ブイ	-	野辺地ブイ	13.6～18.8	脇野沢ブイ	13.5～19.3
奥内ブイ	14.6～19.7	東湾ブイ	9.8～19.4		
青森ブイ	12.9～20.1	横浜ブイ	-		
浦田ブイ	-	浜奥内ブイ	12.6～19.8		

-:欠測

5 今後の見込み

全湾でホタテガイ稚貝が過去最小となっており、付着数が多い採苗器は稚貝の成長が悪くなるので、適正な付着数(2万個/袋程度)に間引きしてください。

適正な付着数に間引きを行った採苗器については、1分5厘で稚貝採取する場合は、西湾で7月下旬、東湾で8月上旬から、2分で採取する場合は、西湾で8月上旬、東湾で8月中旬から開始できる見込みですが、高水温になる前(8月お盆前)に稚貝採取を終える必要があるため、早めの作業を心がけてください。

なお、稚貝採取の詳細な時期については、7月22日に第2回臨時付着稚貝調査(間引き後の中層1袋)を実施して、7月24日に発行予定のホタテガイ採苗速報第14号に掲載しますので、参考にしてください。

